

## 1 研究テーマ

「個に応じた自立活動の視点をふまえた学習指導の在り方」

## 2 テーマ設定の理由

平成23年度から3年間、「児童生徒の教育的ニーズをふまえた自立活動の指導」を研究テーマに取組を進めてきた。3年間の研究の経過からより効果的な「自立活動の視点を取り入れた授業づくり」「教材教具・支援具についての研修」をさらに深めて研修することの必要性があがった。

自立活動の視点をふまえた効果的な指導を進めるには、マネジメントサイクルにおける、実態把握（A）→計画（P）→実施（D）→評価（C）→改善（A）に基づく授業改善が大切である。とりわけ、特別支援学校の障害のある児童生徒には計画を立てる前の実態把握（A）が必要である。個々の障害の状態や生育暦などを知ること、個に応じた指導をよりいっそう効果的に行うことができる。

また、今年度は、今までのⅢ類型が自立活動を主とした教育課程に改善されたため、自立活動主Ⅲ類型の自立活動の内容づくりや指導方法などについての研修を深めていかなければならない。

そこで、「個に応じて自立活動の視点をふまえた学習指導の在り方」を研究テーマにすえ、3年間の実践研究を進めていく。

## 3 研究主題

研究は3年間で行う。

- ① 1年目（平成26年度）…各教科等・自立活動における実態把握について
- ② 2年目（平成27年度）…各教科等・自立活動における目標設定について
- ③ 3年目（平成28年度）…各教科等・自立活動の視点をふまえた授業評価について

## 4 研究の方法

### ○授業改善に向けた取り組み

#### （1）校内全体研修会

- ①外部講師によるテーマに沿った内容の研修会を実施する。

#### （2）校内授業研究会（6月～7月）

- ①公開授業研究会に向けて、外部から指導助言者を招いて校内授業研究会を実施し、各学部で研究協議を行う。

#### （3）公開授業研究会（9月26日）

- ①小学部、中学部、高等部から各学部一授業、公開授業を行う。
- ②外部から指導助言者を招いて、各学部で研究協議会を行う。
- ③外部講師による研究テーマに沿った内容の講演会を実施する。

#### （4）教材教具・支援具についての研修会

- ①教材教具・支援具について一人1回学部で発表し研修する。
- ②公開授業研究会で展示する。
- ③教材教具、支援具の各学部研修会を実施する。

#### （5）自立活動の視点をふまえた実態把握

- ①自立活動の6区分の実態把握を取り入れた授業づくりをすすめる。
- ②肢体不自由児の特性をふまえた・マネジメントサイクルに基づいた教材教具・支援具を製作し、授業で生かす。
- ③Ⅲ類型の自立活動の内容作りや指導方法について研修する。

### ○専門性の向上に向けた取り組み

（1）外部講師、内部講師による、Ⅲ類型の自立活動に関する研修会を行う。

（2）OT、PT、ST、外部専門家等と連携し、児童生徒の実態把握に関する研修会を行う。  
OT、PT、STと連携した内容を「自立活動内容表」に生かす。

<教育研究部>

<自立活動部>

